

『小児期発症原発性硬化性胆管炎患者の病理組織検討』 に対するご協力をお願い

研究の目的と意義	この研究は小児期発症の「原発性硬化性胆管炎（Primary Sclerosing Cholangitis: PSC）」の実態を解明することで、患者さんの生活レベルを良くすることに役に立つ研究です。
研究の方法	通常の診療で行った診療情報及び肝生検の病理組織標本を用いて病理組織学的検討を実施します。
対象者	当院開院から2026年3月31日の間に当院で肝生検、内視鏡的逆行性胆管膵管造影を実施し、原発性硬化性胆管炎と診断された患者さん
利用する試料/情報	患者背景(性別、診断時年齢、症状)、基礎疾患の有無、診断時血液検査所見(AST(アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ)、ALT(アラニンアミノトランスフェラーゼ)、GGT(ガンマグルタミルトランスペプチダーゼ)、GGT(ガンマジーティーピー)、T.bil(総ビリルビン)、D.bil(直接ビリルビン)、Alb(アルブミン)、WBC(白血球)、Hgb(ヘモグロビン)Plt(血小板)、PT(プロトロンビン活性))、診断時非襲侵的肝線維化マーカー、病理組織所見
利用する試料/情報の取得方法	診療で得られた診療録から取得します。
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765 横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	【研究代表機関】 済生会横浜市東部病院 小児肝臓消化器科 部長 梅津守一郎(研究代表者) 【研究分担機関】 倉敷中央病院 病理診断科 主任部長 能登原憲司(研究責任者)
試料/情報の院外提供	提供先機関・提供先責任者：倉敷中央病院 病理診断科 主任部長 能登原憲司 提供方法：輸送により提供
結果公表	学会で発表予定
試料・情報の利用又は提供開始日	院長による研究実施許可日
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、西暦2028年3月31日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 小児肝臓消化器科 部長 梅津守一郎
問い合わせ先	〒230-8765 横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 小児肝臓消化器科 部長 梅津守一郎